

財団法人 原子力研究所
第 2 回 理 事 会 議 事 要 録

1. 日 時 昭和 31 年 1 月 17 日(火)午後 9 時 30 分

1. 場 所 日本工業倶楽部 3 階第 2 会議室

1. 理事総数 11 名

1. 出席理事数 10 名

1. 委任状により代理された者の数 1 名

1. 議事要旨

石川理事長議長となり開会を宣したのち第 2 回理事会議事録署名人として木村健二郎、田代茂樹両理事を指名決定し、駒形副理事長、久布白常任理事より第 1 回理事会以降の一般経過報告、会計報告を行い、これを承認、議件の審議に移り別項の通り決定した。なお、亀山顧問、小坂(藤井電発副総裁代理出席)、松永両相談役ならびに佐々木原子力局長、鳥村総務課長、堀管理課長、鈴木アイソトープ課長および倉田、原両監事が出席された。

1. 議決した事項

(1) 参与選任の件

参与は別紙の通り学界 19 名、民間 12 名、官界 3 名に委嘱することに決定した。

(2) 敷地選定の件

c111-024-047

敷地選定に関する土地選定委員会の調査結果を各候補地の
特徴につき報告があり、これに基づき検討した結果、W.B
型、CP-5型、天然ウラニウム重水型国産炉等の10,000KW
以下の実験用原子炉敷地と動力用炉敷地とに分離して選定
する方針をも採用することになった。

(3) 実験用原子炉購入の件

原子炉購入については、政府の許可あり次第W.B型、CP
-5型の炉を購入する事、エキスポネンシャル実験並びに
燃料加工研究用として天然ウラン、重水各4 tonを購入す
ること、および杉本、神原両名を原子炉ならびに天然ウラ
ン、重水購入につき、下相談をかねて調査のため渡米させ
ることを決定した。

(4) 借入金の件

借入金については、まず政府補助金の交付をうけること
とし、その後において必要に応じ借入することに決定した。

(5) 31年度予算の件

31年度原子力関係総予算については、目下政府におい
て検討中であり、種々問題もあるが、大体36億円で、う
ち31年度における現金支出は20億円、残16億円につ
いて、政府の債務保証というような形によつて行われ、現
金支出は32年度にわたる模様であり、当研究所の分はこ
の内合計19億5千万円で、現金支出7億円、債務保証12
億5千万円である旨の報告が行われた。

(6) 職制ならびに給与等諸規程の件

職制、就業規則、給与規程、出張旅費規程については暫定措置をして別紙通~~り~~決定した。なお退職金規定等については次回の理事会に提出することとなった。

(7) 海外留学生の件

アルゴンヌ原子炉学校への留学生については、官民各2名宛派遣し、帰国後は必要あるときは当所研究所に勤務させることになっているが、原子力研究所設立の今日としては当初採用予定の民間2名の留学生についてはその費用1人当約200万円を当所において支出のこととした。

(8) 研究所長の件

研究所長は、駒形副理事長が暫定的に兼任とすることに決定した。

(9) その他

当所の近況を関係方面に周知せしめる目的で「原子力研究所について」というパンフレットを作製することとしたが、その内容を更に検討の上配布することとした。

以上